

バッテリーの性能検査

- | | | |
|----------|--------------|----------|
| 1 電解液の比重 | 1.28 (満充電比重) | 比重計にて測定 |
| 2 電圧測定 | 2.1V (満充電時) | 専用電圧計で測定 |

バッテリーは定期的に満充電時に上記の検査を行う事でバッテリーの性能を判断する事ができます。

サルフェーションを除去しても上記の測定値近くまで値が確保できない場合は

- 1 充電時に極端に電解液が減る
- 2 セルの温度が上がる

以上の症状が現れます。(充電している電気が蓄電されず、熱となるため)電圧計など外部測定でも確認できます。

バッテリーを構成している各セルは「生き物」と称されることがありますが、耐久性能のばらつきがあります。最悪性能が落ちてきているのが出てきまいたらその単セルを交換することにより、蓄電池全体の性能が回復します。

バッテリー自体メンテナンスを行う事により長期間使用する事ができます。

「ラスロン」の反応は約1年間反応しています。

その後徐々にサルフェーションが蓄積されますので定期的に(3~5年)お使いいただけますと、「経費削減」「産業廃棄物の軽減」「環境問題」などに寄与できるのと確信しております。